

2023年5. 15 沖縄平和行進

関東地方東京支部 書記次長 吉田直樹

今回齢50歳を越えて初めて沖縄平和行進に参加させていただきました。全国大会等で中央委本部の方や沖縄地本の方から沖縄の現状に関しお話をお聞きしておりました。しかしながら実際に平和行進を体験する事により、自分の頭の中で想像していたことよりも過酷な現実を体験できました。

1日目のひめゆりの塔、旧海軍を視察して戦争の悲惨さを知りました。特にひめゆりの塔は2度目になりますが、戦時中の生徒たちの歩みは、胸熱くなるものがありました。2日目は糸満市役所から平和祈念公園までの南部戦跡コース約10キロの道のりを途中交通量の多い道や狭い道ではレンジャーの皆さんのスムーズな誘導で予定通り終えることができました。3日目の平和と暮らしを守る県民大会は、沖縄へも思いや今後の沖縄をどう守るかなどの決意聞くことが出来ました。沖縄本土復帰51年になった今も戦争の爪痕はまだ消えていないと感じました。のどかなに見える街の中心部や近隣に米軍基地が置かれ、軍の飛行機やヘリコプターが飛び交っています。その米軍の飛行機やヘリコプターの墜落事故が起きております。又戦闘機などの騒音で夜も眠れない騒音問題、飛行機などの燃料油漏れによる海や川の汚染問題、更に辺野古新基地の新設による沖縄の自然への環境破壊問題等多くの問題が山積していることを肌で感じました。また学習会や全国結団式、県民大会等での沖縄住民の決意や思いを聞いて、本当の意味で「沖縄の平和は来るのか」、「戦争のない平和な時代は来るのか」と改めて感じました。誰かが声上げなければ何も変わらない、そのためにも労働運動の大切さ、労働組合の団結の大事さを感じた5日間でした。

最後に沖縄地本の皆さん受け入れ本当に有難うございました。